

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司



大本山總持寺向唐門

仁叟寺住職 大本山より ～大本山總持寺監院～

当山住職が、昨年10月に大本山總持寺監院を拝命し、早いもので半年近く経過いたしました。

仁叟寺では、住職不在の中、副住職・寺族を中心に総代人始め世話人役員、檀信徒の皆様と共に、年末年始や大節分会等の恒例伝統行事をおつとめさせていただきました。ご協力いただきました檀信徒各位に、改めて御礼を申し上げます。

住職は、大本山總持寺に於いて、大本山總持寺貫首石附周行大禅師猊下を補佐



師走と新年の風景

師走に入り、真心が終わる、新春の準備であわただしくなる本山。歳末助け合い托鉢、塚松には、はじまり、年の瀬には年賀歳暮(年納めのお勤め)が當りました。二十八日には境内各所へお供えするための餅つきを行い、三十日は一年間の修行の無事を感謝して大祖堂で土地堂念誦、香積台で庫堂調経を修し、紫雲台で行茶を営みました。大海日は大祖堂で年内最後の行持となる経を営み、午後十一時四十五分からの大梵鐘の撞き初め(写真)で、令和四年が幕を開けました。

大本山總持寺出版部発行『跳龍』

令和四年二月号・三月号より

令和4年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈祷・年賀受
- 1/4～1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/13 大般若会/大施食会
- 3/18～3/24 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13～7/16 新暦盂蘭盆会
- 7月下旬(一泊二日) 第40回子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13～8/16 盂蘭盆会
- 9/20～9/26 秋季彼岸会
- 10月 檀信徒研修旅行
- 11月 先住三回忌、寺族七回忌
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古
- ※隔週土曜日 華道教室
- ※毎月最終土曜日 ヨガ教室

され、修行僧と共に日夜精進されています。コロナ禍の中、本山では充分に対策を施し、除夜会や節分会、涅槃会等多くの行事を指揮され、本山の護持運営につとめております。

日々の行事は勿論の事、鶴見大学はじめとする学校法人、こども園等の社会福祉法人の運営にも当たっております。

本山での行事風景とともにご報告いたします。合掌



節分会追儚式を山内で厳修

節分会追儚式を二月三日に営みます。例年なら二千人の檀信徒が本山の節分つき子戯やな本山の節分ですが、今年も昨年を引き継ぎ、新型コロナウイルス感染症予防のため、福男福女の人々や、ご祈願を申し込まれた方々には不参加の形で、執り行いました。今回のご祈禱では協賛八十社、福男二十八、福女二十八の皆さまのお礼が内陣(須弥壇)に飾られました。石附周行禅師さまの御親修で、山内僧侶のみで行った大持法要では、諸災消除、身体健全、社運隆昌など、皆さまの心願成就をお祈りいたしました。

仁叟寺除夜会、大節分会等のご報告



上毛新聞記事（2月4日付）より

昨年の仁叟寺除夜会は、コロナ禍の状況を鑑み、令和2年除夜会と同様に、総代人各位のご協力を賜り、規模を縮小した上で、しっかりとした感染症予防対策を施し、伝統の行事を行いました。

同じく本年の大節分会は、信永院住職、慈恩寺住職、向陽寺住職のご法助を賜り、総代人及び世話人各位のお手伝いをいただき、無事圓成することが出来ました。ありがとうございました。本年も「豆まき」は行わず、見えられた方全員に、福豆と福餅のセットを配布する「豆配り」をいたしました。

文殊堂での節分会祈祷では、施主の祈願は勿論のこと、来年は、コロナが収束し、例年通りの賑やかな豆撒きを行うことが出来ますように、祈念いたしました。



大節分会御祈祷風景

総代人交代のご報告

この度、仁叟寺の総代人を辞任させていただくこととなりました。

住職様よりご指名を受け、歴史と伝統ある仁叟寺の総代人として長きに亘りお世話になりました。矢島総代長はじめ総代人世話人各位からのあたたかいご協力をいただいたこと、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。

仁叟寺は、古くから地域の旗艦寺院としてその役割を担い、現在もかたく伝統の行事をつとめ、また多くの文化財を有する歴史ある古刹です。昨年は、住職様が宗門の重職である大本山總持寺監院として、本山に上がられました。檀信徒として誇りに思います。

最後に、菩提寺の益々のご繁栄と檀信徒皆様のご健勝を祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。



㊤住職 ㊦中曾根弘文議員 ㊧神保堯男総代

神保堯男前総代人より退任の挨拶を頂戴いたしました。神保様は長く町議及び市議を勤め、地域行政に手腕を発揮され菩提寺護持にもご尽力いただきました。ありがとうございました。後任は、神宮光信様が総代人の任に当たられます。宜しくお願い申し上げます。

當山モクの木周辺 稲荷社庭園整備報告



高崎市指定天然記念物モクの木
北東を護るモクの木及び稲荷社の
周囲の整備が立派に行えました

に叟寺の北東には、高崎市指定天然記念物のモクの木があり、また稲荷社が置かれております。その周囲環境の整備を檀信徒である鈴木昌邦氏に依頼。吉田造園様と共に、本年1月、立派に整備されました。当園の作業をするに当たり、しっかりと構想を立て、庭石を苔むすために土の中に寝かせたりと手間を惜しまずにご尽力いただきました。

高崎市保存樹の五輪桜の周辺、樹木葬自然葬の永代供養墓「大樹苑」で当山の本堂裏、北側は一新されました。今回の作業で、更に綺麗に整備されました。周囲には東屋の休憩所もあり、当寺に参られる際には、是非、ゆっくりとご覧ください。

龍源寺境内地及び墓地の人災被害について

龍源寺境内地及び墓地への不法投棄を原因とした産業廃棄物流入事件が発生してから既に2年以上が経過いたしました。解決に向けた道のりは迅速には進んでおりませんが、再発防止を目的とした群馬県による工事が、昨年12月に完了。昨夏には何度も現場に足を運び調査をいただきましたE&Dテクノデザイン株式会社による報告書が、科学的見地よりまとめられ、結果資料が提出されました。

昨秋には、被告多野造園土木株式会社による当事件の土砂を吉井町多比良地区に投棄し、懲りずに同じように産業廃棄物を埋め、盛り土を行っていたことも情報提供により判明し、行政による指導が入ったと伺っております。高崎市に提出した撤去報告書により、廃棄物総量645立米は処分されましたが、土砂は行政への報告義務はなく、このような結果となったようです。原状回復を約束し、署名捺印した覚書の反故から始まり、予期せぬ係争になった経験等より、今更驚くことではありませんが、残念としか思えない行動です。

昨年12月19日には、代理人を招き第11回目となる被災者説明会も龍源寺本堂に於いて開催いたしました。被災者、檀信徒はじめご尽力いただいております関係各位に深く感謝申し上げます、早期の解決と墓所の復旧の為、引き続きご協力をお願い申し上げます。

完了した龍源寺の再発防止工事



令和3年度 御寄進者一覧 (順不同、敬称略)

番号	日付	地区	芳名	内容	物品	寄進物品
1	2月22日	鮎川	三木 文明	墓石塔移転改修開眼供養	-	涅槃釈迦像
2	4月1日	東京	篠崎 恵美子	積善院十七回忌供養	-	山門幕再調
3	4月9日	長根	金井 宏行	戒名恩金	-	観音堂木魚
4	4月29日	多胡	齊藤 将聡	墓石塔改修開眼会供養	-	薬師堂幕
5	5月31日	高崎	新井 徳司	戒名恩金等	-	文殊堂五色幕
6	7月1日	多胡	神保 鶴子	戒名恩金	-	稲荷庭園整備
7	7月19日	中島	森 久	もみじ山古墳公園整備	つつじ澤山	-
8	7月	神保	柿田 均	境内庭園整備	つつじ4株	-
9	7月	高崎	龍見 由三郎		タオル100本	-
10	盆	-	新盆檀信徒各位	坐禅堂、文殊堂畳替え	-	-
11	8月22日	多胡	井上 幹博	亡母菩提供養	-	黒塗角香炉二個
12	8月31日	多比良	村尾 さち子	もみじ山古墳公園整備	彼岸花澤山	-
13	9月18日	塩川	下山 宗平	墓石塔開眼会供養	-	稲荷庭園整備
14	9月30日	高崎	新井 順圭	万寿屋社葬	-	万寿亭
15	10月24日	南陽台	井上袈裟男、礼子	生前戒名恩金	蓮日本画二幅	稲荷庭園整備
16	11月16日	吉井	井上 洋	両親菩提供養	-	文殊堂前机
17	1月16日	塩	向井 敏昭	仁泉院三回忌供養	-	稲荷庭園整備
18	2月3日	多比良	石匠多比良		手桶五個	-
19	2月23日	中島	森 久	もみじ山古墳公園整備	紫蘭球根澤山	-
20	2月27日	塩	橋爪 勝	墓石塔改修開眼供養	-	お焚き上げ石標

この度のご寄進 誠にありがとうございました 合掌

行雲流水 (編集後記)

編集人 住職代行 渡辺龍道

昨秋に仁叟寺住職が大本山總持寺監院として上山され、早半年近くが経とうとしております。その間、住職地の龍源寺と共に歴史ある当寺を護らせて参りました。大変な場面も多々ございますが、矢島総代長を中心とした総代人の皆様、檀信徒の皆様、縁に繋がる方々のお力添えを賜り、伝統の行事を感染症予防対策を施した上でしっかりと行い、何とか無事につとめを果たさせていただいております。引き続き、宜しくお願い申し上げます。

コロナ禍も然りですが、ロシアによるウクライナ侵攻等、世界情勢も目まぐるしく変化し、我々の生活にも影響を及ぼしております。宗門も賛同し、強く取り組む「SDGs」～持続可能な17の開発目標～の実践を心掛け、精進をして参りたく思っております。合掌

